

2026年1月1日以降の実績

1号機

・1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)は、一次冷却系の弁の分解点検に伴い、3月9日午前9時57分、一次冷却系ポンプを計画的に停止した。
停止期間は1カ月程度を見込んでいる。
停止時のSFP水温は24.5℃。冷却を1カ月間行わなかった場合の水温は約38.7℃になると評価しており、運転上の制限である60℃には達しないことを確認している。
一次冷却系の弁の分解点検が完了したことから、3月31日午前11時51分、1号機一次冷却系ポンプを起動した。冷却再開後のSFP水温は32.4℃で安定し、現場に異常がないことを確認している。

2号機

・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、冬季の原子炉注水源の水温低下に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(1月8日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
1月8日午前10時6分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(1月8日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、関連パラメータを、慎重に監視していく。

・1、2号機SFPの共通設備である二次冷却系については、計装品および電気品の定例点検に伴い、3月16日午前10時2分、冷却系ポンプを計画的に停止(2号機SFPの冷却も停止)した。
二次冷却系の停止期間は1週間程度を見込んでいる。
停止時の2号機SFP水温は21.8℃。冷却を1週間行わなかった場合の水温は約25.4℃になると評価しており、運転上の制限である65℃には達しないことを確認している。
計装品および電気品の定例点検が完了したことから、3月23日午前10時10分、二次冷却系ポンプを起動し、2号機SFPの冷却を再開した。冷却再開後のSFP温度は28.3℃で安定し、現場に異常がないことを確認している。

2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、春季の原子炉注水源の水温上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(4月1日の原子炉注水量変更予定:1.3 m³/h→1.5 m³/h)
4月1日午前9時53分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(4月1日の原子炉注水量変更:1.3 m³/h→1.5 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認した。
引き続き、慎重に監視していく。

・2号機原子炉圧力容器内部調査においては、ファイバースコープを原子炉圧力容器内に挿入して調査を行う予定であり、挿入するファイバースコープの視認性を向上させるため、4月16日、2号機の原子炉注水を一時的に停止する。停止時間は1時間程度を予定している。

(4月16日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→0 m³/h→1.5 m³/h)
一時停止の実績については、別途お知らせする。
4月16日午前9時41分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:1.5 m³/h→0 m³/h)
その後、午前11時51分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0 m³/h→1.5 m³/h)
引き続き慎重に監視していく。

3号機

・3号機原子炉格納容器内気中部調査(マイクロドローン調査)において、原子炉格納容器内の気中部をマイクロドローンが飛行することから、3号機の原子炉注水を3月5日より2週間程度の間、断続的に停止する。

(3月5日の原子炉注水量変更予定 調査開始前:3.5 m³/h→調査中:0 m³/h→調査終了後:4.0 m³/h)

2回目(3月6日)以降の調査における原子炉注水量は、原子炉格納容器の水位および次回調査までの時間を考慮して変更することから、調査開始前の3.5 m³/hおよび調査終了後の4.0 m³/hから増減する。

一時停止の実績については、別途お知らせする。

3月5日午前10時26分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.5 m³/h→0 m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時30分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0 m³/h→4.0 m³/h)

3月6日午前10時35分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.7 m³/h→0 m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時45分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0 m³/h→3.8 m³/h)

3月7日午前10時26分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:3.8 m³/h→0 m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後2時26分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(原子炉注水量変更:0 m³/h→3.7 m³/h)

3月9日午前10時43分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時45分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.6m³/h)

3月10日午前10時36分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.6m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時51分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.6m³/h)

3月12日午前9時54分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.6m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時54分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.7m³/h)

3月13日午前9時45分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後1時6分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.7m³/h)

3月16日午前10時4分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時22分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.7m³/h)

3月17日午前10時4分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時13分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.7m³/h)

3月18日午前10時5分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.7m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時37分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.8m³/h)

3月19日午前10時7分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.8m³/h→0m³/h)

その後、調査終了に伴い、午前11時47分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0m³/h→3.4m³/h)

引き続き慎重に監視していく。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクバトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6エアータンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- 一時貯水タンクB 1月1日 午前10時14分～午後3時1分。排水量712m³
- 一時貯水タンクC 1月2日 午前10時31分～午後3時17分。排水量708m³
- 一時貯水タンクD 1月4日 午前9時48分～午後2時46分。排水量740m³
- 一時貯水タンクJ 1月7日 午前10時18分～午後5時。排水量998m³
- 一時貯水タンクB 1月9日 午前10時26分～午後5時10分。排水量1,007m³

- ・一時貯水タンクD 1月14日 午前10時12分～午後3時30分。排水量790m³
- ・一時貯水タンクH 1月15日 午前10時19分～午後3時31分。排水量776m³
- ・一時貯水タンクB 1月17日 午前11時00分～午後4時48分。排水量864m³
- ・一時貯水タンクC 1月20日 午前11時31分～午後6時21分。排水量1,018m³
- ・一時貯水タンクJ 1月23日 午前10時28分～午後4時15分。排水量862m³
- ・一時貯水タンクH 1月24日 午前10時49分～午後2時18分。排水量517m³
- ・一時貯水タンクB 1月25日 午前10時25分～午後1時52分。排水量514m³
- ・一時貯水タンクE 1月25日 午前10時28分～午後1時19分。排水量424m³
- ・一時貯水タンクC 1月28日 午前10時23分～午後2時59分。排水量685m³
- ・一時貯水タンクK 1月31日 午前9時47分～午後2時18分。排水量674m³
- ・一時貯水タンクJ 2月1日 午前10時23分～午後3時11分。排水量716m³
- ・一時貯水タンクH 2月5日 午前10時34分～午後4時34分。排水量894m³
- ・一時貯水タンクE 2月7日 午前10時13分～午後1時11分。排水量440m³
- ・一時貯水タンクG 2月11日 午前11時1分～午後2時9分。排水量467m³
- ・一時貯水タンクB 2月12日 午前10時13分～午後1時11分。排水量443m³
- ・一時貯水タンクC 2月13日 午前10時11分～午後1時6分。排水量434m³
- ・一時貯水タンクD 2月18日 午前10時13分～午前11時35分。排水量202m³
- ・一時貯水タンクE 2月21日 午前10時36分～午後1時35分。排水量443m³
- ・一時貯水タンクB 2月24日 午前11時18分～午後4時26分。排水量766m³
- ・一時貯水タンクC 2月28日 午前10時54分～午後2時46分。排水量574m³
- ・一時貯水タンクD 3月2日 午前10時29分～午後2時1分。排水量505m³
- ・一時貯水タンクE 3月3日 午前11時34分～午後4時14分。排水量697
- ・一時貯水タンクF 3月7日 午前11時13分～午後2時24分。排水量472m³
- ・一時貯水タンクA 3月8日 午前10時52分～午後1時51分。排水量442m³
- ・一時貯水タンクB 3月10日 午前10時17分～午前11時59分。排水量253m³
- ・一時貯水タンクC 3月13日 午前10時20分～午前11時57分。排水量240m³
- ・一時貯水タンクD 3月14日 午前10時15分～午前11時58分。排水量253m³
- ・一時貯水タンクE 3月15日 午前11時25分～午後2時42分。排水量489m³
- ・一時貯水タンクF 3月20日 午前10時54分～午後3時59分。排水量758m³
- ・一時貯水タンクG 3月21日 午前10時27分～午後1時6分。排水量392m³
- ・一時貯水タンクA 3月22日 午前10時27分～午後1時52分。排水量507m³
- ・一時貯水タンクB 3月25日 午前10時18分～午後1時46分。排水量515m³
- ・一時貯水タンクE 3月31日 午前11時6分～午後2時19分。排水量478m³
- ・一時貯水タンクH 4月1日 午前10時45分～午後3時40分。排水量733m³
- ・一時貯水タンクG 4月3日 午前10時23分～午後3時52分。排水量817m³
- ・一時貯水タンクB 4月4日 午前10時58分～午後2時58分。排水量597m³
- ・一時貯水タンクA 4月5日 午前10時25分～午後3時7分。排水量700m³
- ・一時貯水タンクF 4月6日 午前10時40分～午後3時38分。排水量740m³
- ・一時貯水タンクC 4月7日 午前11時24分～午後5時14分。排水量871m³
- ・一時貯水タンクD 4月8日 午前10時59分～午後4時11分。排水量774m³
- ・一時貯水タンクE 4月11日 午前10時31分～午後3時43分。排水量776m³

- ・一時貯水タンクG 4月12日 午前10時26分～午後3時5分。排水量693m³
- ・一時貯水タンクH 4月13日 午後0時56分～午後6時37分。排水量845m³
- ・一時貯水タンクA 4月14日 午前10時9分～午後6時35分。排水量699m³
- ・一時貯水タンクD 4月16日 午前10時16分～午後2時33分。排水量637m³
- ・一時貯水タンクB 4月18日 午前10時46分～午後4時12分。排水量810m³
- ・一時貯水タンクC 4月19日 午前11時17分～午後5時58分。排水量996m³
- ・一時貯水タンクE 4月28日 午前10時24分～午後4時3分。排水量820m³
- ・一時貯水タンクA 4月29日 午前10時38分～午後5時27分。排水量1,015m³
- ・一時貯水タンクB 5月1日 午前10時23分～午後4時56分。排水量977m³
- ・一時貯水タンクF 5月2日 午前10時21分～午後2時52分。排水量673m³
- ・一時貯水タンクD 5月3日 午前10時18分～午後4時57分。排水量992m³
- ・一時貯水タンクG 5月4日 午前10時29分～午後4時25分。排水量883m³
- ・一時貯水タンクH 5月5日 午前10時31分～午後4時30分。排水量892m³
- ・一時貯水タンクC 5月6日 午前10時4分～

<特記事項>

・サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAに貯水していた水の排水について、4月14日午前10時9分に開始したが、同10時11分に自動で停止した。調査の結果、電源盤内のヒューズが切れていたことから、ヒューズの交換を実施。その他の設備に異常がないことを確認し、午後1時53分に一時貯水タンクAに貯水した水の排水を再開した。

・4月24日実施予定であったサブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの排水については、浄化設備の状態確認に伴い運転計画を見直したため、実施日を4月28日に変更する。

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯留タンクグループ2 1月5日午前10時13分～午後4時1分。排水量1,601m³
- ・一時貯留タンクグループ3 1月20日午前10時19分～午後5時17分。排水量1,917m³
- ・一時貯留タンクグループ1 2月4日午前10時10分～午後2時18分。排水量1,087m³
- ・一時貯留タンクグループ2 2月16日午前10時9分～午後5時36分。排水量2,081m³
- ・一時貯留タンクグループ3 2月24日午前10時16分～午後4時4分。排水量1,578m³
- ・一時貯留タンクグループ1 3月3日午前9時57分～午後2時56分。排水量1,348m³
- ・一時貯留タンクグループ2 3月12日午前10時13分～午後4時32分。排水量1,750m³
- ・一時貯留タンクグループ3 3月26日午前10時25分～午後6時1分。排水量2,089m³
- ・一時貯留タンクグループ1 3月31日午前10時22分～午後5時13分。排水量1,872m³
- ・一時貯留タンクグループ2 4月7日午前10時8分～午後3時33分。排水量1,502m³
- ・一時貯留タンクグループ3 4月21日午前10時22分～午後4時。排水量1,552m³
- ・一時貯留タンクグループ1 4月24日午前10時10分～午後3時。排水量1,312m³

・一時貯留タンクグループ 2 4月29日午前10時3分～午後5時15分。排水量2,029m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

ALPS 処理水測定・確認用タンク

以下、放出実績のみ記載。

<放出実績>

- ・ALPS 処理水測定確認用タンクB群
3月6日午前10時11分～3月24日午後0時6分 7,834m³
- ・ALPS 処理水測定確認用タンクA群
4月2日午前11時32分～4月20日午前0時6分 7,865m³

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

・陸側遮水壁設備について、免震重要棟にて警報が発生したため、当社社員が現場を確認したところ、1月8日午前10時00分、陸側遮水壁が全台停止していることを確認。
凍土壁の温度に有意な変動はなく、凍土遮水壁の機能への影響は確認されていない。
また、プラントパラメータ、モニタリングポストの指示値に異常なし。
午前11時12分に陸側遮水壁設備の再起動操作を開始し、午後1時57分に再起動を完了。
その後、設備の関連パラメータに異常が無いことを確認。
なお、陸側遮水壁設備の停止期間は数時間程度であり、陸側遮水壁の温度に有意な変動はなく陸側遮水壁の機能への影響はなし。

・4月27日、午後2時9分頃、G1南タンク東側において、当社社員が油膜を発見した。
状況は以下のとおり。

- ・漏えい範囲 : 確認中
- ・拡大防止処置 : 吸着剤による回収作業を実施中(付近に火気なし)
- ・漏えい継続の有無 : 確認中(側溝へ流入あり)
- ・双葉消防本部への連絡時刻: 午後2時28分

現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせする。

その後、当社社員が現場を確認した結果、G1南タンク東側の敷き鉄板付近に20m×15mの範囲に油膜が線状に広がっていることを確認し、油膜の回収を4月27日、午後3時35分に完了した。また、本事案については、富岡消防署により午後3時14分に「危険性はない」と判断された。なお、午後4時4分にBC排水路放水口周辺および港湾内の確認をした結果、油膜は確認されなかった。

【けが人・体調不良者等】

・1月8日、発電所構内瓦礫類一時保管エリアにおいてノッチタンク減容作業中の協力企業作業員が、ノッチタンク解体片を収納したコンテナ内から移動する際に踏み台を踏み外して転倒したことから、入退域管理棟救急医療室を受診し、「右下腿打撲及び右手首関節打撲」と診断され退出した。

当日、医療機関を受診したところ「右下腿打撲足、右腕打撲、右足下腿部の内出血」と診断され、1日以上の休業が必要となった。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 : 1月8日午前9時10分頃
- ・発生場所 : 発電所構内瓦礫類一時保管エリア W(屋外)
- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員(50代)
- ・意識の有無 : 有り
- ・自立歩行 : 可
- ・身体汚染の有無: 無し
- ・発生状況 : コンテナ内から移動する際に、踏み台を踏み外して転倒し負傷

・3月5日、協力企業作業員が発電所構外で体調不良を訴えたため、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前7時19分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 : 午前6時48分頃
- ・発生場所 : 発電所構外
- ・体調不良者の所属: 協力企業作業員(50代)
- ・意識の有無 : 有り
- ・自立歩行 : 否
- ・身体汚染の有無 : 無し

現時点での特記事項なし

・発生状況 : 発電所構外で作業開始前に体調不良を訴えた。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。

・救急車出発時刻 : 午前7時48分

・救急車到着時刻 : 午前8時3分

その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断されている。

なお、個人の疾病であることから病名等については控えさせていただく。

・3月11日、発電所構内 旧協力企業棟前駐車場において、負傷者が発生した。入退域管理棟救急医療室を受診し、救急搬送は不要と判断され退出した。その後、医療機関を受診し診察の結果、「左母指中手骨開放骨折、左手挫創」とされ、1日以上 of 休業が必要となった。

状況は以下のとおり。

・発生時刻 : 3月11日午前11時39分頃

・発生場所 : 発電所構内 旧協力企業棟前駐車場

・負傷者の所属 : 協力企業作業員(30代)

・意識の有無 : 有り

・自立歩行 : 可

・身体汚染の有無:無し

・発生状況 : 作業中、動いた角材に接触し、左手指を負傷した。

・4月26日、協力企業作業員が発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備で体調不良を訴えたため、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前4時8分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

・発生時刻 : 午前3時18分頃

・発生場所 : 発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備

・体調不良者の所属:協力企業作業員(50代)

・意識の有無 : 有り

・自立歩行 : 否

・身体汚染の有無 : 無し

・発生状況 : 発電所構内増設雑固体廃棄物焼却設備にて放射線管理業務に従事中体調不良を訴えた。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。

・救急車出発時刻 : 午前4時41分

・救急車到着時刻 : 午前4時55分

その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病(作業に起因するものではない)と判断されている。

なお、個人の疾病であることから病名等については控えさせていただく。

【その他】